



性暴力被害者支援への医療連携を進めるために

最終報告会 対面、オンラインのハイブリッド開催

DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究

DVや性暴力被害に対する支援を日本で進展させていくために、医療機関による支援が重要です。それには、被害を医療関係者が発見し専門支援につなげること、診断/治療・証拠採取/保管の両方が含まれます。また女性のみならず、子ども、男性、性的マイノリティの被害者への対応も求められています。そこで本調査研究では、医療者側の経験や認識、相談窓口側の現状やニーズの両側面からの調査に取り組みました。その調査報告と「子ども、男性、性的マイノリティの性暴力・DV被害者に対する医療支援、支援機関の医療との連携」についてパネルディスカッションを行います。

司会・進行 渥美 治世（研究分担者、東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学 助教）

1. 開会あいさつ 河野美江（研究代表者、島根大学松江保健管理センター教授）

2. 調査報告

「子ども、男性、性的マイノリティの性暴力被害者に対する診療に関する2次調査結果」

竹谷 健（研究分担者、島根大学小児科学講座教授）

「DV相談支援機関、性暴力ワンストップセンターと各地域での医療連携」

北仲千里（研究分担者、 広島大学ハラスメント相談室/NPO法人全国女性シェルターネット）

3. パネルディスカッション

「子ども、男性、性的マイノリティ被害者に対する医療支援、支援機関の医療との連携について」

パネリスト

溝口史剛（前橋赤十字病院小児科副部長）

山田浩史（性暴力救援センター日赤なごやなごみ 副センター長）

中塚幹也（岡山大学学術研究院保健学域教授、日本GI（性別不合）学会理事長）

種部恭子（日本産婦人科医会常務理事）

日時 2024年 9月 28日（土） 13:00～15:00

会場 広島大学霞キャンパス凌雲棟304室

広島市南区霞1丁目2番3号

会場へのアクセス 広島駅よりタクシーで10分、バスで15分

バス：広島駅南口より「大学病院」行き

（302・312・322・332・342号線） 終点で下車

市内中心部「紙屋町県庁前」バス停より「大学病院」行き

（23・23-1号線） 終点で下車



Webでの申し込み

<https://peatix.com/event/4040103>



後援：日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会、日本小児科学会、日本救急医学会、日本小児外科学会、GI(性別不合)学会、性暴力救援センター全国連絡会

【お問い合わせ先】

「DV・性暴力被害者の医療と連携した支援体制の構築のための研究」班 Email y-kono@soc.shimane-u.ac.jp 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学松江保健管理センター 河野研究室 TEL 0852-32-6567